

kyndryl.

# Kyndryl マルチクラウド・ マネジメント・プラットフォーム： IT 財務管理のための ガバナンス・コンソール

クラウド費用の集計、割り当て、最適化



2	概要
4	機能
5	導入事例
6	Kyndryl をお勧めする理由

## 概要

組織がビジネスのワークロードをIT環境に継続的に以降するにつれて、クラウドの制御を改善しながらサービスのアクセスと可視性を向上させることは不可欠です。

たとえば、財務部門は支出活動を見て、クラウドに関する支出が予算や業績の目標を満たしているかどうかを容易に確認できなければなりません。その課題とは、どのようなものでしょうか。複数のクラウド、システム、プロバイダー、プロセスにまたがる複雑なハイブリッドIT環境を管理することは、エンドツーエンドの運用を効果的にモニターおよび管理できないことから生じる無駄な努力に終わることがよくあります。また、オープンではなく、自動化されておらず、他のものと統合できないにもかかわらず、管理しなければならない従来型のインフラストラクチャーを依然として使用している企業も少なくありません。

スケーラブルなデジタル・トランスフォーメーションを実装するには、連携されたITが必要です。結果必要となるのは、チームがあらゆるソースやパートナーから迅速にサービスと情報にアクセスできるようにするクラウド運用モデルです。IT環境全体の可視性が向上することで、シャドーITやベンダーの困り込みをはじめとする、複雑性やリスクに対応することができます。そして、IT運用についてクラウドのコスト、使用量、パフォーマンスを管理することができます。しかし、どのようにしてパイプライン間で継続的なガバナンスを創出するのでしょうか？ 答えは、Kyndryl™ マルチクラウド・マネジメント・プラットフォーム (MCMP) です。これは、ハイブリッドなITエコシステム全体に一連のガバナンスを提供するアプリケーション・スイートです。

## ビジネスに合わせて拡張できる、デジタル・セルフサービスのスマートな IT 管理プラットフォームの活用

Kyndryl MCMP オペレーション・コンソールにより、デジタル・スコープ全体に単一のアプリケーションでアクセスできるようになります。このセルフサービス型の運用プラットフォームは、運用効率を強化しながら、効果的なクラウド消費ガバナンスとビジネスの優先事項との綿密な調整を促進します。

Kyndryl MCMP オペレーション・コンソールは、単一のインターフェイスを使用して、データセンター、マルチクラウド、コンテナの運用に必要な可視性を提供し、イベントを自動的に検出して相互に関連付け、修正措置を推奨することでヒューマン・インテリジェンスを強化します。これらの機械学習機能は時間をかけて AI モデルを作成し、運用チームが問題の発生箇所を理解し、積極的に解決するのに役立ちます。

## クラウドの使用とクラウドへの支出を管理するための財務ガバナンス・フレームワークを確立

MCMP ガバナンスモデルは、IT 財務管理用のアプリケーションと機能の相乗的なグループです。

共に、すべての開発段階で技術スタックの上下そして全般に、継続したガバナンスを提供します。

IT 部門のリーダーは、クラウドの使用と支出に関してポリシーに基づくガバナンス・ルールを確立するために必要なツールを手に入れることができます。それにより、コスト、トレンド、予算のトラッキング、ポリシーへの準拠などに対する統合化された所見を得ることができます。

## Kyndryl MCMP ガバナンスモデルの中心: コストおよび資産管理

コストおよび資産管理アプリケーションは、企業がクラウド財務管理の複雑さを管理するのを支援する、という主要な目的を持つ MCMP ガバナンス・モデルには不可欠です。

コグニティブ IT ガバナンスの一環として構築されているコストおよび資産管理は、予測分析が標準装備されており、クラウド環境をモニターおよび制御し、マルチクラウドの最適な財務管理を実現します。

主なメリットは次のとおりです。



システムやプロバイダー間での可視性を得ることで、対応が必要な箇所を特定する能力が向上します。この可視性により、データに基づいた洞察から得られる、支出およびコスト管理に関する意思決定が改善されます。



クラウドの使用量と支出の実績に基づいて価値実現までの時間が短縮されることで、クラウド環境のモニターと最適化が改善され、全体的なコスト削減が実現され、手作業が軽減されます。



可用性が向上し問題解決までの時間が短縮されることで、運用の効率化が進みコスト削減が可能になります。



## 機能

### クラウド・ガバナンスによる管理機能の最大化

MCMPクラウド ガバナンス・ツールを利用することで、自動化された作業と情報ステーションであるコンソールのダッシュボードを通じて、クラウド・インフラストラクチャーを管理できるようになります。

人工知能と機械学習 (ML) を活用したモデルを使用することで、資産ポートフォリオに完全な可視性がプラスされ、クラウドへの支出を追跡し、コンシューム管理を行うことができます。活用されていない資産を迅速に特定し、投資収益率を最大化するアクション・プランを決定することができるようになります。

セルフサービスのガバナンス・プラットフォームは、コンシュームを合理化します。財務チームと IT チームが必要とするのは、マルチクラウドのガバナンスを実行するための単一の参照システムなのです。その結果、ビジネスの優先事項にさらに適した形で、効果的かつ効率的にクラウドを使用することができるようになります。運用効率も高まります。この単一のハブからハイブリッドクラウドとマルチクラウドのコストや資産をすべて管理し確認することができるのです。

### マルチクラウドのコスト管理の確立

Kyndryl のコストおよび資産管理は、クラウド環境に対する財務ガバナンスを提供します。お客様は、すべてのクラウドの使用量と支出額を集計して詳細に見ることができます。完全にそしてほぼ継続してそれが行われるため、チームはデータの収集や理解にこれまでほど集中することなく、IT 予算を最大限に活用することができるようになります。

### コンシュームを管理してコストも管理

MCMP ガバナンス・ツールは、プロバイダーから送られてきたデータを集計し、コスト使用率のチャートや情報をダッシュボードに表示します。使用傾向が確認でき、非効率性が明らかになり、ポリシーに基づいたガバナンスを推奨することができます。さらに、データから導き出された支出額や最適な使用量についての推奨事項も取得できます。鍵となるのは、個別のプロバイダーからの実用的な洞察や、集約されたプロバイダーのデータから導かれる洞察を得ることです。Kyndryl MCMP の差別化要因により、このガバナンスを実行することができるようになり、また自社独自の人工知能や機械学習モデルに関する貴重な知見を得ることができます。

### さらに効果的な戦略的予算計画の導入

財務担当者は、モニタリングと管理を強化するためのカスタマイズされたタグ付けをするフィルターや異なる設定を使用して、ライセンス全般にわたり資産を分類することができます。それにより、複数のクラウドでリソースを管理しやすくなります。予算に対するガバナンスが確立されると、自動化された分析レポートにより生成・統合された集計データを使用して、使用量と支出額を最適化する場所を特定できます。

### プロバイダーのサブスクリプション管理

チャージバック・レポートは、自動化されたダッシュボードから取得できます。これは以前、手動で手間をかけて作成されていたデータです。プロバイダーからの月次スプレッドシートの収集、正しいビジネスユニットへの利用費用の割り当て、請求書の収集、数字の計算など、手動による作業は何週間もかかっていました。今では、それらはすべてスマート・オートメーションにより数時間で完了し、基本的に継続して行われ、集計データは夜間に更新されて、ダッシュボードを介して使用できます。

## お客様の成功事例

### BRF 社

#### ビジネス・チャレンジ

BRF 社は、世界最大級の完全に統合されたアグリフード企業です。同社のチームは、ハイブリッド・マルチクラウドの複雑性を管理するためのソリューションを必要としていました。複数のプライベートクラウドとパブリッククラウドが一体となった単一システムとして管理することがメインのチャレンジでした。そこでは、すべてのクラウドの統合化された所見が必要とされていました。

#### Transformation

Kyndryl は、BRF 社が効果的なクラウド管理戦略を策定するのを支援しました。それは、BRF 社のクラウド資産を継続的に可視化し、現行コストと予想コストを盛り込んだ履行計画を伴うものでした。

IT 運用ミックスに AI を追加することで、必要な情報が集約・相関され、ハイブリッド IT エステート全体の状態が Kyndryl MCMP ガバナンス・コンソールという 1 枚のガラスで表示されます。

MCMP により、BRF 社は、単一の統合ダッシュボード内で自動的に、パブリッククラウドおよびプライベートクラウドのコストと資産を管理し、確認できるようになりました。1 年後、BRF 社は 2 万件のクラウド資産をツールに追加しました。また、財務報告書の作成実行リードタイムを 8 時間から 8 分へと 98% 短縮しました。

# 1

## クラウド・コストと使用状況の最適化

**問題:**大規模なマルチクラウド・エースタートでは、未使用や過剰供給されたリソースからコスト的に非効率なものを検出することが困難である。

**ソリューション:**複数のクラウド・プロバイダーにおよぶ使用状況やコストが、人工知能と機械学習を使って分析され、未使用のリソースや過剰供給のリソースを特定する。実用的な洞察が提供され、単一のインターフェースで表示される。

**ビジネス上のメリット:**クラウド・コストと使用状況が最適化され、クラウド・リソースの効率的なコンシュームが確認できる。

# 2

## クラウド予算の管理を改善

**問題:**クラウド・プロバイダーからのコストが予算保有者別に配分されない。

**ソリューション:**財務管理に MCMP を利用して、複数のプロバイダーからのコストを単一のインターフェースに集約する。ユーザーは、予算所有者別にコストを動的にグループ化することができるようになり、コンシューム実績に基づく正確なチャージバック(ショーバック)レポートを作成できる。

**ビジネス上のメリット:**タイムリーにチャージバック(ショーバック)レポートが作成できることで、予算所有者はコストを管理できるようになる。



# 3

## 予算内でのクラウド・コンシューム管理

**問題:**予算所有者は、コストが予算を上回っていることに気づかない。

**ソリューション:**MCMP を使用すると、複数のクラウド・プロバイダーからのコストが集計され比較されるため、日々予算を計上することができる。実際のコストが予算上限に近づくとき自動通知が出され、予算所有者は予算内に収まるようにコンシュームを管理できる。

**ビジネス上のメリット:**プロアクティブな予算通知により、効果的かつタイムリーなコンシューム管理ができる。

## Kyndrylをお勧めする理由

キンドリルには、世界に必要な不可欠なテクノロジー・システムをデザイン、構築、運用する豊富な専門知識があります。私たちは、社会を成長へと導く重要なインフラストラクチャーを発展させることに全力を尽くします。私たちは、新たな方法でシステムを作り出すことで優れた基盤を構築しています。適切なパートナーを選定し、ビジネスに投資し、お客様とともに課題に向き合い、新たな可能性を解放します。

[詳細はこちらから](#) →

# kyndryl

© Copyright Kyndryl Inc. 2021

キンドリルジャパン合同会社

〒103-0015

東京都中央区日本橋箱崎町19-21

Kyndryl は、米国もしくはその他の国における Kyndryl Inc. の商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ Kyndryl Inc. または他社の商標である場合があります。本資料は発行時点で最新のものであり、キンドリルが随時予告なしに変更する可能性があります。キンドリルが事業展開するすべての国で、全製品もしくはサービスが利用できるわけではありません。キンドリルの製品およびサービスは、提供されている契約書の条件および制約に基づき保証されます。記載されている性能データとお客様事例は、例として示す目的でのみ提供されています。実際の結果は特定の構成や稼働条件によって異なります。キンドリルの製品およびサービスは、提供されている契約書の条件および制約に基づき保証されます。